

平成 24 年度 博士前期課程学位論文要旨

学位論文題名

クリティカルケアに関わる ICU 看護師が直面する倫理的問題とそれを抱かせる「思い」

学位の種類：修士（看護学）

人間健康科学研究科 博士前期課程 人間健康科学専攻 看護科学域

学修番号：11894610

氏名：山田 理絵

（指導教員名：習田 明裕）

[目的]

クリティカルケアに関わる ICU 看護師が、医療場面や看護場面で、違和感や葛藤、悩みの中にどのような倫理的問題が内在しているか、インタビューにて明らかにする。またそうした倫理的問題を抱かせる ICU 看護師がもつ「思い」を抽出することを目的とした。

[方法]

質的帰納的研究デザイン。対象施設は東京都 23 区内にあり、ICU を持つ 500 床以上の病院の中から無作為抽出法にて選択し、現在 ICU にて勤務している看護師経験 5 年目以上（ICU 経験 3 年目以上）の看護師を対象とした。分析は、看護師の語りから日々抱えている違和感や葛藤、悩みについてエピソードを再構成し 1 分析単位とし、類似した問題状況に分類し、最終的に倫理的問題を抽出した。次に倫理的問題の状況下において看護師の抱く「思い」を分析単位毎に抽出し、類似した思いを分け、サブカテゴリー、カテゴリーにまとめた。

[結果]

対象施設は 7 施設、研究参加者は 20 名（女性 17 名、男性 3 名）であった。対象者の年齢（平均値±標準偏差、以下同様）は 40.8 ± 7.2 歳、看護師経験年数は 17.9 ± 7.6 年、ICU 経験年数は 6.5 ± 2.7 年。面接時間は 55 分 43 秒±10 分 22 秒。分析は、看護師の語りから日々抱えている違和感や葛藤、悩みについてエピソードを再構成し 1 分析単位とし、類似した問題状況に分類し、最終的に倫理的問題を抽出した。次に倫理的問題の状況下において看護師の抱く「思い」を分析単位毎に抽出し、類似した思いを分け、サブカテゴリー、カテゴリーにまとめた。

インタビューの結果、141 の分析単位が 11 の問題状況に分けられ、最終的に【救命の代償】、【自律性が保てない】、【患者・家族の不利益】、【難しいチーム医療】、【ケアの不平等性】の 5 つの倫理的問題が抽出された。さらに、ICU 看護師が抱く 231 の「思い」を類似した「思い」に分類し最終的に【命を救いたい】、【意思決定を支えたい】、【患者・家族を守りたい】、【楽にさせてあげたい】、【責任を果たしたい】、【協力して支えたい】、【平等を保ちたい】の 7 つのカテゴリーが抽出された。

[考察]

クリティカルケアに関わる ICU 看護師は、救命を第一優先としながらも、患者の尊厳や意思決定を尊重し、患者がその人らしく生を全うできるように援助することを目的にケアを行っていききたいという道徳的価値に根ざした願いに近い「思い」を持っている。しかし、そうした「思い」が様々な倫理的問題で実践できず、拮抗し葛藤が生じた際に倫理的問題を抱えていることが示唆された。